

本が見あたらないときは、かかりの人に聞いてね。予約もできます。新しい本は他にもあります。小初は1・2年、小中は3・4年、小上は5・6年をめやすにしてください。

『2番めにすき』 吉野 万理子
・ベストフレンドは、一番なかよしのお友だちのこと。でもお友だちに順番ってあるのかな？ ネコたちの学校で展開するユーモラスで楽しい物語を通して「友だち、親友とは何か」を考えるきっかけになる本。イラストも満載。(小初)



『いちねんじゅうおばけずかん』 齊藤 洋ノ作
・一年中こわ〜いおばけがいっぱいいます。でも、このお話を読めば大丈夫! 「ひなにんぎょ」をはじめ、「あんこくこいのぼり」「たなぼたのオリメーナ」など、年中行事にまつわるおばけの話全6話を収録。(小初)



『モンスターホテルでうたいましょう』 作ノ柏葉 幸子
・明日はモンスター合唱コンクールなのに、「透明人間合唱団」が風邪で声が出ない! モンスターたちは風邪薬を手に入れるため、人間の街で暮らす魔女を探すことに。ところが、人間に正体がバレそうになって…!?(小初)



『マジカルカレンダー 1』 吉野 万理子ノ作
・おじいちゃんが残したのは、時代を超えて飛んでいけるカレンダー! ? 夏休み、苦手なおばあちゃんの家で過ごすことになった小4の大夢は、おじいちゃんの発明品をきっかけに、想像を超える冒険へ…。(小初、小中)



『トロリーナとペルラ』 ドナテッラ・ツィオットノ作
・背が低く小太りで、髪が縮れている野暮らし族。その長老たちは、生まれたてのお姫さまを金髪の赤ちゃんと取り替えてしまいました。ふたりはすくすく成長し、おどろくような才能を見せますが…。(小初、小中)



『箱舟に8時集合!』 ウルリヒ・フーブノ作
・大きなスーツケースを持って、ノアの箱舟に乗ろうとしたペンギンたち。すると、世話役のハトに止められる。スーツケースをめぐる押し問答はやがて、神の存在を問う、信仰の核心にせまる問答へ…。(小中)



『ピースがうちにやってきた』 文ノ村上 しいこ
・サチのおかあさんは心の病気。これまで一度もだっこしてもらったことのないサチは、家族のなかでたくさん我慢をしてきた。しかし、1匹のねこの出会いにより一歩踏み出し…。『毎日新聞』連載を加筆修正。(小中)



『わたしはスペクトラム』 リビー・スコット、レベッカ・ウエストコット
・10歳の女の子タリーは、感情がコントロールできなくなって爆発したり、空気が読めなくてトラブルを起こしてしまったりする。けれど、それには理由があって…。自閉スペクトラム症の女の子が実体験をもとにえがく物語。(小中、小上)



『秘密に満ちた魔石館 4』 廣嶋 玲子／作
・大好きな祖父からドラゴンの卵を託されたマックス。水色の石のネックレスにひきつけられた、仕事に疲れ切ったマーサ。叔父に水晶を贈られた、空想世界が好きなヨハンナ。6つの魔石による6つの物語を収録。(小中、小上)



『私立探検家学園 2 あなたが魔女になるまえに』 斉藤 倫
・松田コロンは、私立探検家学園に通う小学5年生。3月もなかばを過ぎたころ、2回目の実習が行なわれることに。今回のミッションは「マンドラゴラをさがせ!」。コロンたちは、マンドラゴラを見つけることができるのか。(小中、小上)



『ふしぎな図書館とやっかいな相棒』 作／廣嶋 玲子
・転校生が読んでいた「アンデルセン童話」がきっかけで、アンデルセンワールドの修復を頼まれたひなた。著者のアンデルセンと一緒に物語に入り込めることにワクワクするけれど…。(小中、小上)



『いつか空の下で』 作／堀 直子
・ある日、養鶏場の片隅で、ケガをした鶏と出会った小4のあすか。処分されるはずだった鶏を助けたことで、この養鶏場の実態を知る。「鶏の幸せとは、自分たちにできることは」思い悩んだあすかは…。(小中、小上)



『ガリバーのむすこ』 マイケル・モーパーゴ
・アフガニスタンの少年オマールは戦争で難民となり、母親と親戚のいるイギリスを目指す。しかし、オマールがたどりついたのは「ガリバー旅行記」に出てくる小人の国リリパット。そこでオマールは友情をはぐくむが…。(小上)



『願いがかなうふしぎな日記 2』 本田 有明
・冬休み、光平はおばあちゃんからもらった日記を再び始めることにした。ところが、夏休みの時のように順調にはいかなくて…。失敗や挫折を経験して成長していく少年の姿を描く。「願いがかなうふしぎな日記」第2弾。(小上)



『カトリと眠れる石の街』 東 曜太郎
・19世紀後半のスコットランドの都市、エディンバラ。カトリは街の中にジワジワと広がる眠り病の原因を、リズとつきとめようとする。そのうち、旧市街が隠している「大きな秘密」がわかってきて…。(小上、中)

